

## 1. 第9回合同部会①の進め方

### (1) 具体的テーマについて

#### ①「アクセス道路ネットワーク化及び遊水地道路案内サイン」について

前回示した素案等について、事務局にて見直した内容や進捗状況等の資料を配布する。

・・・・・・・・・・参考2

#### 【見直し内容】

- ・渡良瀬遊水地ルートマップ【主要駅から】
  - ➡ (裏) 各駅からのルート図に、各地点及び遊水地への入口等までの距離、移動手段別の所要時間を追加(徒歩で〇分、自転車で〇分など)
- ・サイクリングロードマップ
  - ➡ 〇各貸出所への所要時間を追加。(①⇄② 〇〇分)
  - 〇裏面の図中の相互乗入①～④と⑤～⑦の表示を色分けする。
  - 〇野木駅西口を追加し、シェアサイクルの記載を削除。
- ※上記の2項目については、ホームページ掲載の方法等について検討する。
  
- ・遊水地内主要地点に総合案内看板の設置
  - ➡ 〇背景を航空写真からアクリルのガイドマップに表示の地図に入れ替えた。
  - 〇今後、整備手法(案)を示した上で管理者(国交省)と協議した上で、検討する。
- ・遊水地内の位置表示
  - ➡ 〇周囲堤及び遊水地内については、設置候補として選定した33箇所から通り抜けの利用が少ない河道部分を除いた28箇所での設置方法を検討する。
  - 〇今後、既存の管理用通路等看板の管理者(国交省)と協議した上で、検討する。
- ・幹線道路への案内標識設置
  - ➡ 〇既存看板の設置状況調査結果から箇所ごとに具体的な整備手法を整理する。
  - 〇予め整備手法や表示デザイン等を示した上で、道路管理者と調整する。
  - 〇調整結果に応じて、整備手法及び費用負担方法について検討する。

#### ②「観光、エコツーリズム」について

前回、第8回合同部会では、2つのグループに分けて意見交換を行ったが、結果として、目指すべき方向性や目標を、ある程度、事前に示していかないと議論が進まないと思われる。

#### 【事務局として次の協議会までに目指すもの】

・この部会が、推進主体になるのではなく、あくまでもエコツアーの観点から、遊水地及び周辺で提供できる見学・体験メニュー等をリストアップし、これらを組み合わせたモデルコースをテーマ別に複数設定し、個人やグループ、旅行会社などが実際にツアー等を企画する際に、希望するテーマに応じて、活用してもらえるよう情報発信していくことを目標とする。

【今回のグループワークの進め方】

・前回のグループワークでは、意見交換により、遊水地の魅力やその魅力を伝える手段や必要なものを挙げていただいた。・・・(参考1)の3ページ目を参照)

・今回は、関東エコロジカルネットワーク関係の資料を利根上より提供いただき、渡良瀬遊水地をコースに取り入れ試行的なエコツアーとして開催した事例を資料として用意した。

・・・参考3

・また、遊水地周辺の観光資源を一覧にまとめたものを資料として用意した。・・・参考4

・第8回合同部会では、各市町での遊水地における既存の取り組みについて、一覧表で確認した。・・・参考5

(ステップ1)

メインテーマの設定

・前回のグループワークで挙げられた、遊水地の魅力、その魅力を伝える手段や必要なものを踏まえて、遊水地を舞台としたエコツアーを通して伝えたい魅力は何なのか、また何をメインとしていくのかを考える。

・例えば、Aグループでは、歴史、自然、スカイスポーツ、野鳥、治水機能の5つが挙げられている。

・また、Bグループでは、上記の5つの他、多様な利用も挙げられている。

(ステップ2)

メニュー及びコース設定

・ステップ1で考えたメインテーマを伝えるために必要となる具体的な場所やメニューを(遊水地周辺を含め)組み合わせたコースの素案を考える。

【次の協議会までに目指す方向性】

(1) 具体的なコース設定の検討を通じて遊水地及び周辺で提供できる見学・体験メニュー等をリストアップする。

(2) 参考3の事例等を参考として、メインテーマ別に設定したツアーと遊水地周辺の観光資源等を組み合わせたモデルコースを作成する。